



センター試験の会場

センター試験の受験票が金曜日の夕方にやっと学校に届いた。水曜日のTの際に配布するので欠席しないように。

で、この受験票を見ると、自分の受験会場が分かるのだが、例年男子文系、理系、女子文系、理系、私立型、特殊型といった感じで6会場くらいに分かれることが多いのだが、今年の日比谷からの受験生は3会場に分かれることになった。基本的に、女子全員が●●大学、男子の文系が●●大学、そして男子理系が●●大学会場である。一部女子の中で、私立型・特殊型を選択している人は、男子理系と同じ●●大学になっている人もいる。受験票で場所を確かめたら、何人かで下見に行ってみるとよいだろう。家のすぐソバという人もいるので、その人は超ラッキーといったところか。でも、そういう人ほど逆に寝坊しやすかったりするから、浮かれていないでしっかり気を引き締めておくことが大切。

学年主任は、2日間に分けて各会場の入口に応援に行く予定らしい。3会場だから、2日間で1会場だけ行けない計算になるので、多分、男子文系の会場は無視される可能性があるが(笑)、もし、会場入口で学年主任の顔を見たら、寄って行って元気を分けてもらうとイイだろう。多分、ヒマな?他の担任も出かけていると思うので、会場入口付近ではキョロキョロしてみることだ。「時計を忘れた!」とか、「鉛筆忘れた!」とか困ったことが起こった場合にも、相談に乗ってくれるかも知れない。何にせよ、早めに出かけて余裕のある行動がとれるようにしておく、何かあった時に慌てずに済む。そういうところから受験は始まっているのだと考えて、計画

的に行動しよう。

ちなみに、35Rの担任は…?と思うかも知れないが、実はセンター試験の間、何かあった時のための「学校待機」という係(電話番号ですな)があって、私はそれになってしまったのである。だから、会場に顔を出すことはできない。ぜひ、みんなの出陣前?の朝の顔を見てみたいところなので残念至極ではあるが、そういう事情なのでお許しを。

数年前までこの日比谷高校がセンター試験の会場として使われていて、当然のことながら日比谷生はいつもの教室で(…ってももちろん1年生の教室になったりすることはあるわけだが)受験できたのである。いつも通りの交通ルート(定期券!)で試験会場入りできるし、トイレの場所や自動販売機の場所も分かっているし、さらには、空き時間があれば、サッと行き慣れた見附のマックや永田町のエクセルシオールで時間をつぶす(勉強する)ことができたりするわけで、やはり精神的には有利だったといえると思う。

会場管理は大学入試センターの職員の方(実際は東大の職員の方だったが)がするわけで、試験当日は我々教員も立ち入り禁止となるのだが、何かあった時のためにということで、2名の先生だけは会場入りすることができた。前の担任の時には、私とその係になって会場内をウロウロしていたので、日比谷の受験生にとっては、それなりにホッとする一助にはなり得たのではないかと思っている。今回はそういうわけには行かないが、どんな場所・状況であっても、持てる力をキッチリと発揮してほしいものである。